

# 東北における基本方針に定める 移動等円滑化の目標達成状況

---

# 基本方針に定める移動等円滑化の目標達成状況の概要(2020年度末)

バリアフリー法に基づく基本方針に定められた2020年度までの標整備目標の達成状況は下記のとおり。2021年度からは2025年度までの3次目標を設定し引き続き移動等円滑化を推進。

		2020年度末の目標達成状況	2020年度までの2次目標(令和2年度末)	2025年度までの3次目標 (2次目標からの変更部分を赤字で記載)	
鉄軌道	鉄軌道駅	95%※1※2	○3,000人/日以上鉄軌道駅を原則100%	○3,000人以上/日以上及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた2,000人/日以上鉄軌道駅を原則100%【指標を追加】	
	ホームドア・可動式ホーム柵	943駅 (2,192番線)	※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う	○3,000番線(10万人以上は800番線)	
	鉄軌道車両	76%	○約70%	○約70%※4 ※車両のバリアフリー基準改正を踏まえて設定	
バス	バスターミナル	94%※1※2	○3,000人/日以上を原則100%	○3,000人/日以上及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた2,000人/日以上バスターミナルを原則100%【指標を追加】	
	乗合バス車両	ノンステップバス	64%	○約70%(対象から適用除外認定車両(高速バス等)を除外)	○約80%※4
		リフト付きバス等	6%	○約25%(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)	○約25%※4(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)【指標を追加】
	貸切バス車両	1,975台	○約2,100台	○同左※4	
船舶	旅客船ターミナル	100%※1※2	○3,000人/日以上旅客船ターミナルを原則100%	○2,000人/日以上旅客船ターミナルを原則100%【指標を追加】	
	旅客船(旅客不定期航路事業の用に供する船舶を含む。)	53%	○約50%	○約60%※4	
航空	航空旅客ターミナル	100%※1※2	○3,000人/日以上航空旅客ターミナルを原則100%	○2,000人/日以上航空旅客ターミナルを原則100%【指標を追加】	
	航空機	99%	○原則100%	○同左※4	
タクシー	福祉タクシー車両	41,464台	○約44,000台	○約90,000台※4【指標を追加】	
道路	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路	91%	○原則100%	○約70% ※対象が約1,700km→約4,450kmとなったことを踏まえて設定	
都市公園	園路及び広場	59%※3	○約60%	○規模の大きい概ね二ヘクタール以上の都市公園について約70%	
	駐車場	50%※3	○約60%	○規模の大きい概ね二ヘクタール以上の都市公園について約60%	
	便所	37%※3	○約45%	○規模の大きい概ね二ヘクタール以上の都市公園について約70%	
路外駐車場	特定路外駐車場	71%※3	○約70%	○約75%	
建築物	2,000㎡以上の特別特定建築物のストック	62%	○約60%	○約67%	
信号機等	主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等	98%	○原則100%	○原則100%【指標を追加】	

※1 旅客施設は段差解消済みの施設の比率。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響で旅客需要の減少が継続

※3 2020年度末の数値は集計中であるため2019年度末の数値

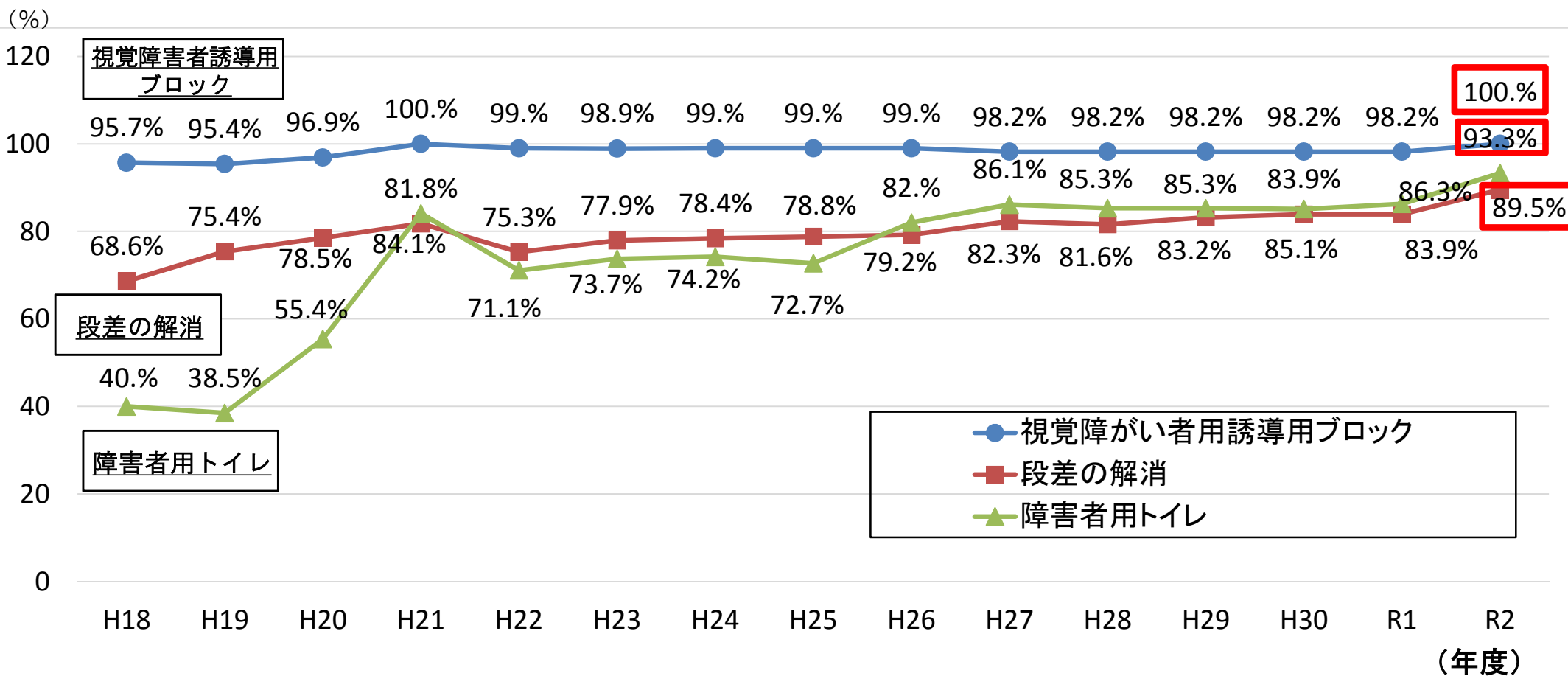
※4 車両等におけるバリアフリー化の内容として、段差の解消、運航情報提供設備(車両等の運行(運航を含む。に関する情報を文字等により表示するための設備及び音声により提供するための設備。福祉タクシーにあっては、音声による情報提供設備及び文字による意思疎通を図るための設備)の設置等が含まれる旨を明記。

# 旅客施設

# 鉄軌道駅のバリアフリー化の推移(東北)

## ◆鉄軌道駅のバリアフリー化の目標

一日あたりの平均的な利用者数が3千人以上である鉄道駅については、令和2年度までに、原則として全てについて、移動等円滑化を実施する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

※H19~22年度までは旧基本方針に基づき1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設、23年度以降は改訂後の基本方針(平成23年4月1日施行)に基づき、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の整備状況を示している。

※「障害者用トイレ」については、便所を設置している旅客施設における整備状況を示している。

# 鉄軌道駅のバリアフリー状況(東北県別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上である鉄軌道駅のバリアフリー化は、約9割について実施済。
- ・県別にみると、青森県と山形県の進捗率が高い。

(令和2年度末時点)

(目標値:約100%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
鉄道駅数	4	9	68	3	1	10	95	3,251
(うちトイレ設置駅数)	4	9	64	2	1	10	90	3,074
段差の解消(駅数)	4	6	64	2	1	8	85	3,090
割合	100.0%	66.7%	94.1%	66.7%	100.0%	80.0%	89.5%	95.0%
視覚障害者 誘導用ブロック(駅数)	4	9	68	3	1	10	95	3,158
割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.1%
障害者トイレの設置(駅数)	4	8	61	2	1	8	84	2,832
割合	100.0%	88.9%	95.3%	100%	100%	80.0%	93.3%	92.1%

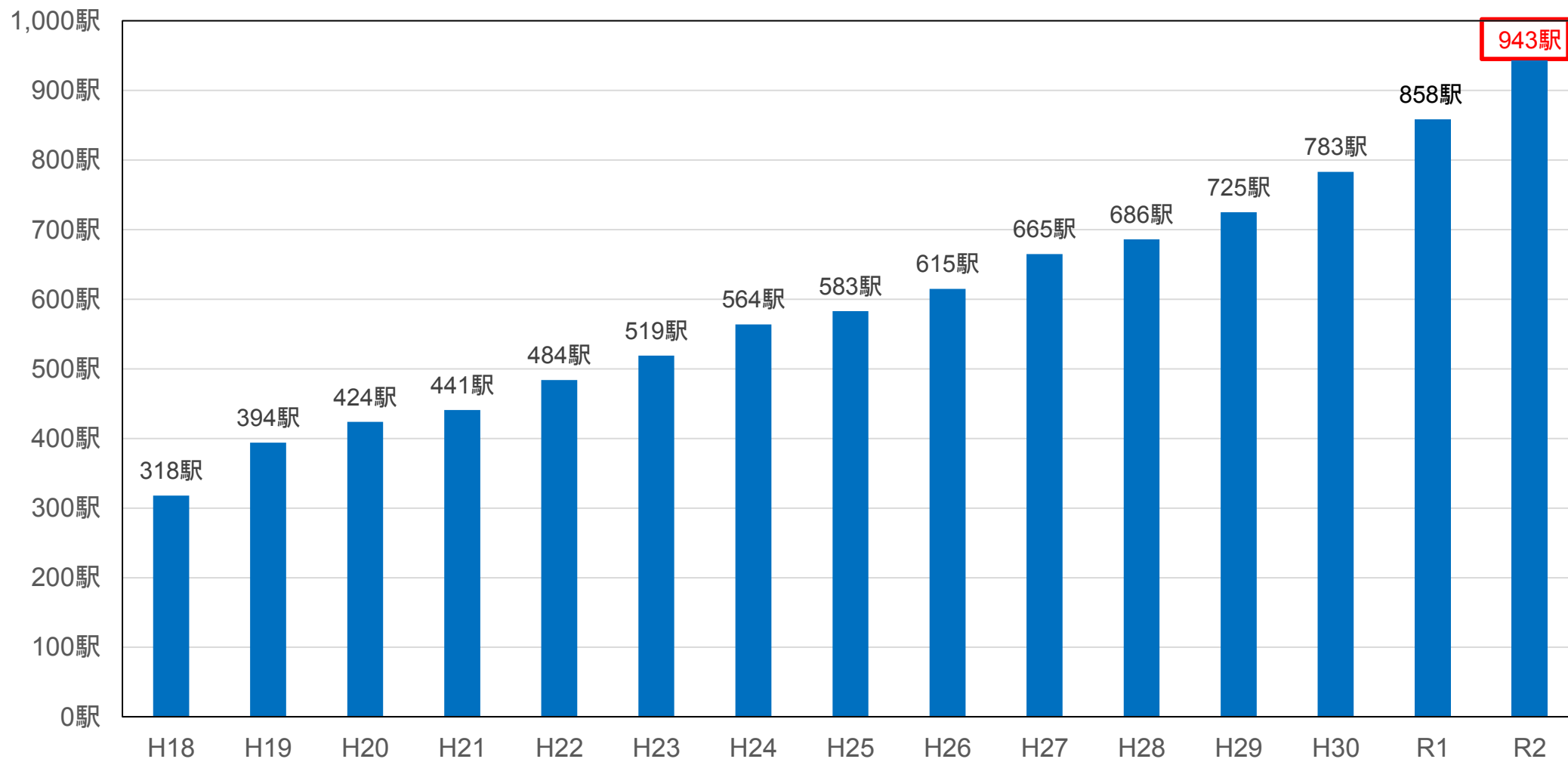
※バリアフリー化率が全国平均より高い地域を赤塗り、低い地域を青塗りとする(以下、同じ)

# ホームドアの設置状況(全国)

## ◆ホームドアの整備目標

車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進する。

※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う。



# バスターミナルのバリアフリー状況(地域別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上であるバスターミナルのバリアフリー化は、段差解消や誘導用ブロックは約9割、障害者トイレについては約8割において実施済。
- ・地域別に見ると、北陸信越、中部、近畿、中国、沖縄の進捗率が高い。

(令和2年度末時点)

(目標値:100%/2020年度末)	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
バスターミナル数	10	-	5	2	4	2	1	-	11	1	36
(うちトイレ設置駅数)	7	-	1	1	4	1	1	-	11	1	27
段差の解消(施設数)	9	-	5	2	4	2	1	-	10	1	34
割合	90.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	90.9%	100.0%	94.4%
視覚障害者誘導用ブロック(施設数)	9	-	5	2	4	2	1	-	11	1	35
割合	90.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	97.2%
障害者用トイレの設置(施設数)	4	-	0	1	4	1	1	-	10	1	22
割合	57.1%	-	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	90.9%	100.0%	81.5%

# 旅客船ターミナルのバリアフリー状況(地域別)

・利用者数が1日平均3千人以上である旅客船ターミナルのバリアフリー化は、既に目標を達成。

(令和2年度末時点)

(目標値:100%/ 2020年度末)	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
旅客船ターミナル数	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	8
(うちトイレ設置駅数)	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	8
段差の解消(施設数)	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	8
割合	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	8
割合	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
障害者用トイレの 設置(施設数)	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	8
割合	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%



# 航空旅客ターミナルのバリアフリー状況(東北県別)

・利用者数が1日平均3千人以上である航空旅客ターミナルのバリアフリー化は、目標を達成。

(令和2年度末時点)

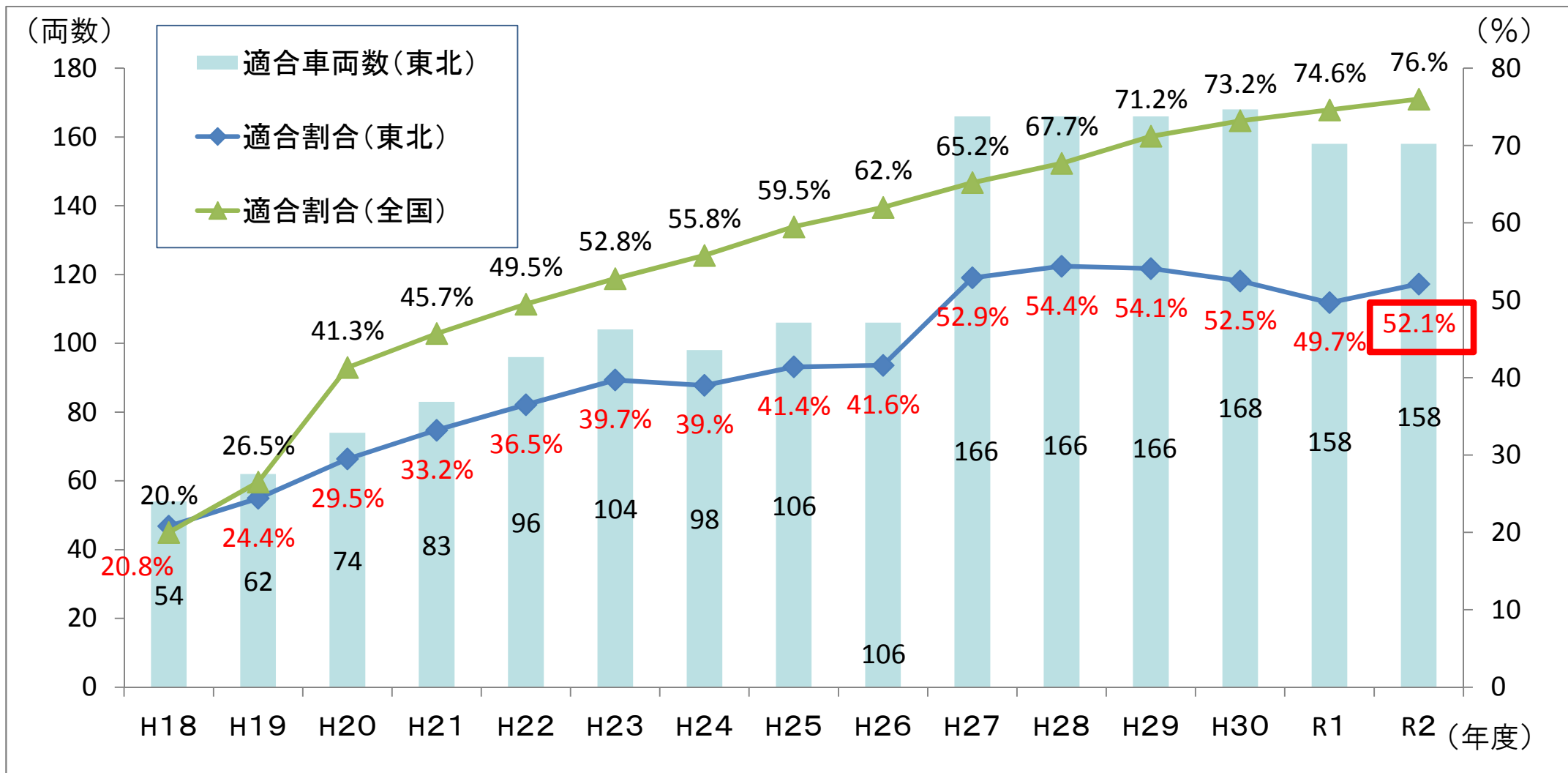
(目標値:約100%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
航空旅客ターミナル数	—	—	1	—	—	—	1	16
(うちトイレ設置施設数)	—	—	1	—	—	—	1	16
段差の解消(施設数)	—	—	1	—	—	—	1	16
割合	—	—	100.0%	—	—	—	100.0%	100.0%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	—	—	1	—	—	—	1	16
割合	—	—	100.0%	—	—	—	100.0%	100.0%
障害者トイレの設置 (施設数)	—	—	1	—	—	—	1	16
割合	—	—	100.0%	—	—	—	100.0%	100.0%

# 車両

# 鉄軌道車両のバリアフリー化の推移(東北)

## ◆鉄軌道車両のバリアフリー化の目標

全国で総車両数約52,000両のうち約70%に当たる約36,400両について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 鉄軌道車両のバリアフリー状況(東北県別)

- ・鉄軌道車両のバリアフリー化は、約5割について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

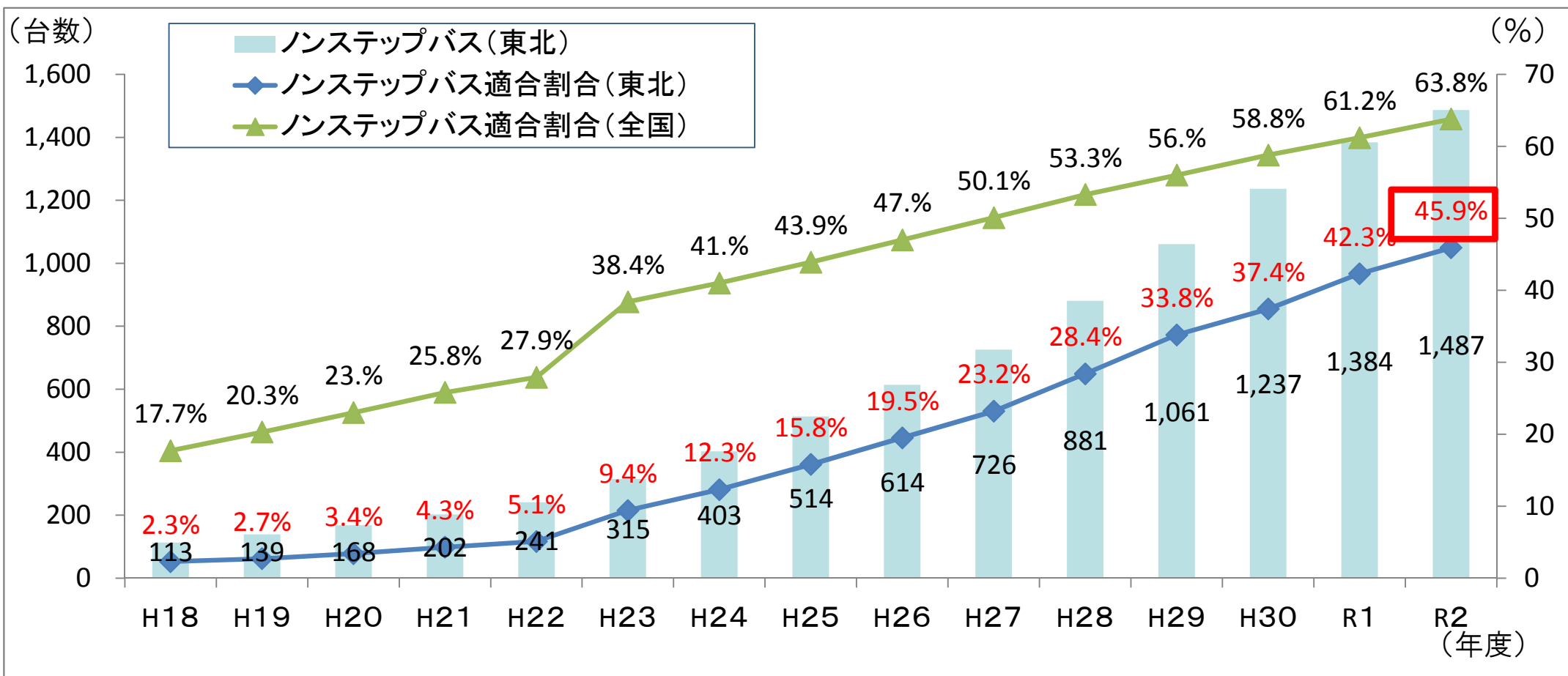
(令和2年度末時点)

(目標値:約70%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数	57	40	150	17	6	33	303	52,645
基準適合車両	4	0	150	0	0	4	158	40,027
割合	7.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	12.1%	52.1%	76.0%

# ノンステップバスの導入の推移(東北)

## ◆ノンステップバスの導入の目標

全国で総車両数約60,000台からバス車両の構造及び設備に関する移動等円滑化基準の適用除外認定車両約10,000台を除いた50,000台のうち、**約70%に当たる約35,000台**について、令和2年度までにノンステップバスとする。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

- ・ノンステップバスは、4割弱の導入状況。
- ・県別に見ると、山形県の進捗率が高い。

(令和2年度末時点)

(目標値:約70%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数 ※適用除外認定車両を除く	460	566	1,035	335	172	673	3,241	46,226
基準適合車両	171	185	598	99	110	324	1,487	29,489
割合	37.2%	32.7%	57.8%	29.6%	64.0%	48.1%	45.9%	63.8%

- ・リフト付きバス等は、適用除外認定車両のうち25%が目標のところ、5.8%の導入状況。

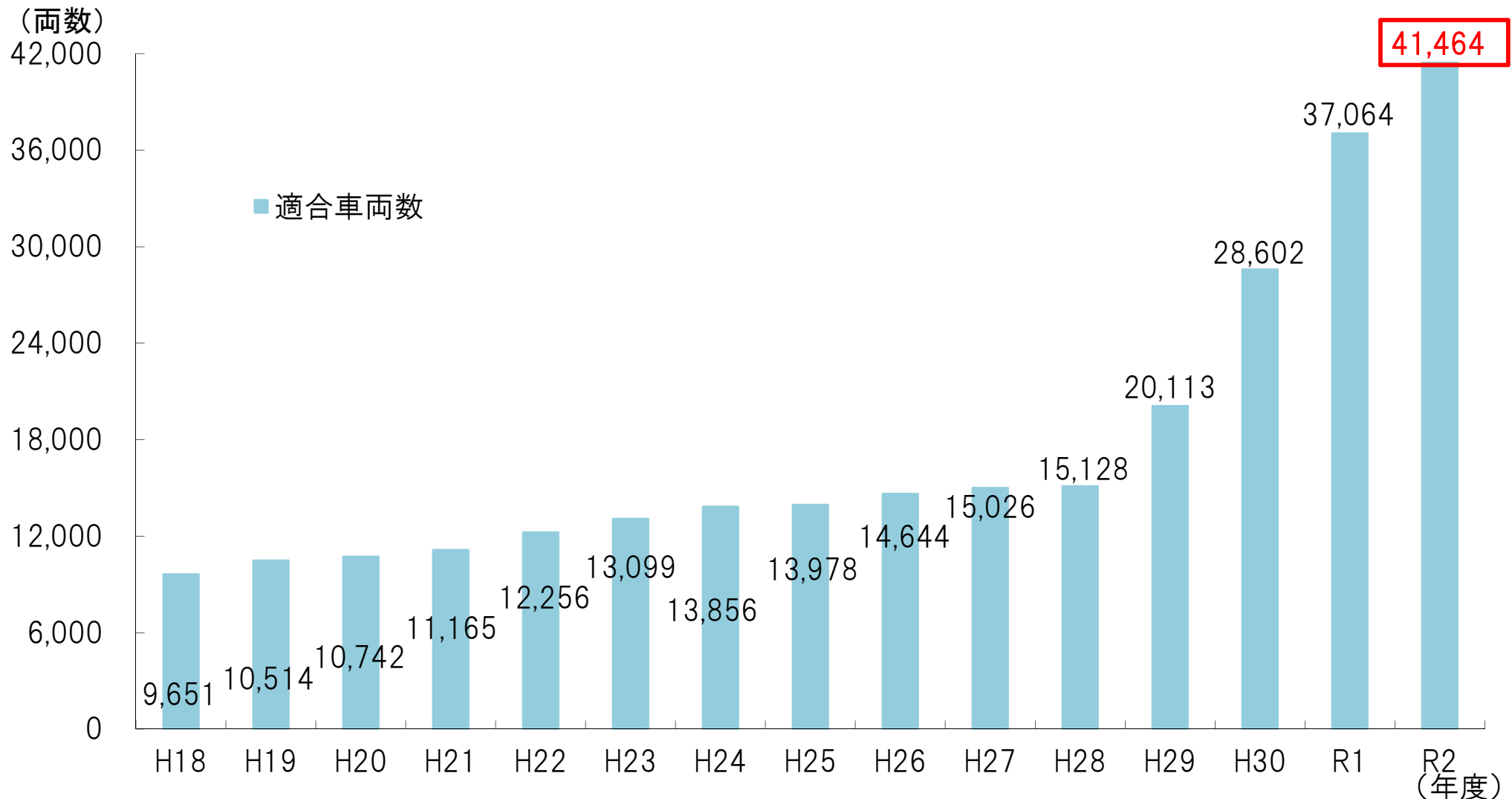
(令和2年度末時点)

(目標値:約25%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	全国合計
総数 ※適用除外認定車両	796	1,358	720	2,928	757	1,507	945	538	1,856	283	11,688
基準適合車両	51	78	16	163	109	113	27	2	110	5	674
割合	6.4%	5.7%	2.2%	5.6%	14.4%	7.5%	2.9%	0.4%	5.9%	1.8%	5.8%

# 福祉タクシーの導入の推移(全国)

## ◆福祉タクシーの導入の目標

令和2年度までに、**約44,000台の福祉タクシー**(ユニバーサルデザインタクシー(流し営業にも活用されることを想定し、身体障害者のほか、高齢者や妊産婦、子供連れの人等、様々な人が利用できる構造となっている福祉タクシー車両をいう。)を含む。)を導入する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

# 福祉タクシー・うちUDタクシーの導入状況(東北県別)

- ・福祉タクシーについては、ユニバーサルデザインタクシー(JPN TAXI)の販売増加等により、全国合計で前年度より約4,000台増加した。
- ・県別に見ると、福島県における導入数が多い。

(令和2年度末時点)

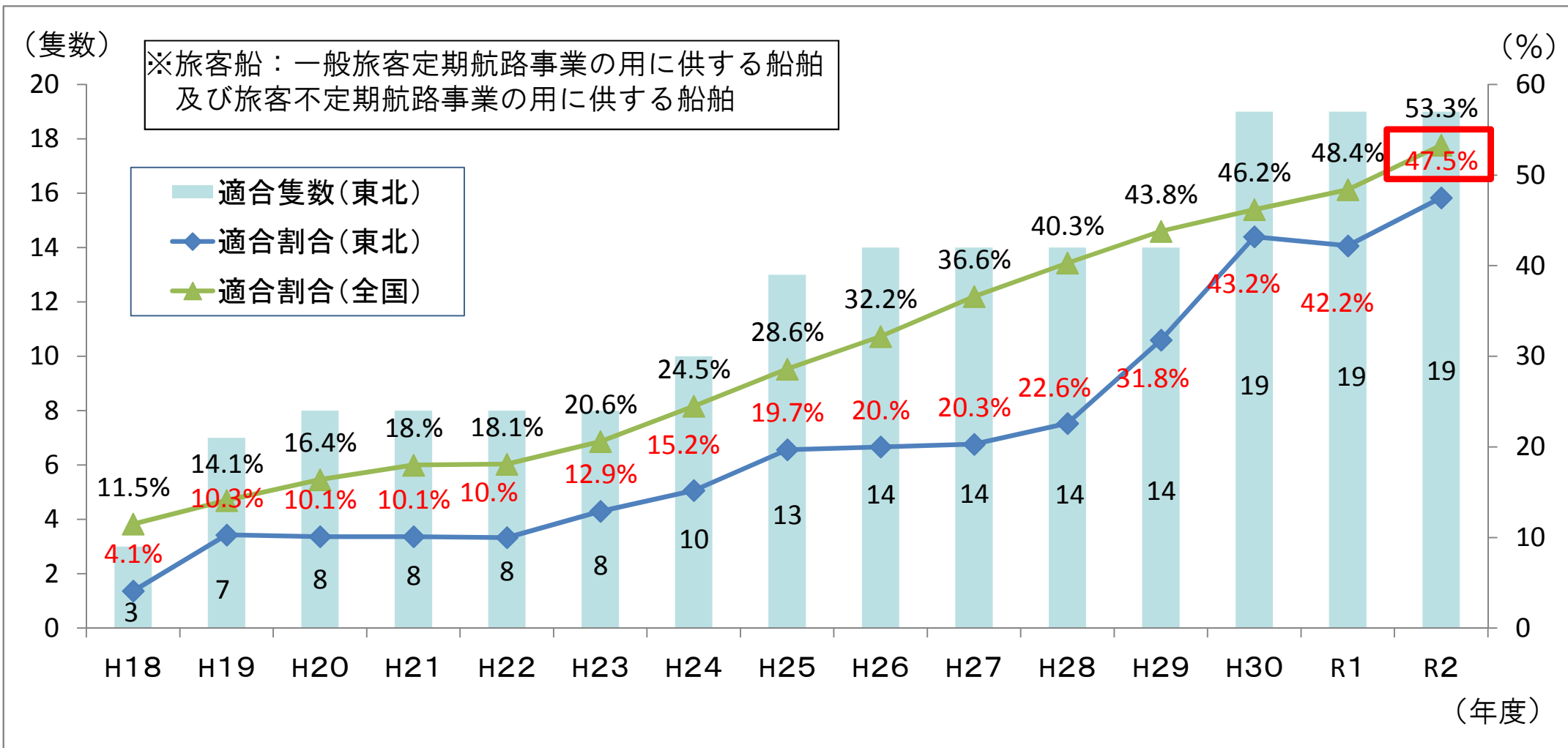
(目標値:約44,000台/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
基準適合車両	408	273	383	149	234	482	1,929	41,464
うちUDタクシー	130	47	128	42	84	151	582	25,878



# 旅客船のバリアフリー化の推移(東北)

## ◆旅客船のバリアフリー化の目標①

一般旅客定期航路事業及び旅客不定期航路事業の用に供する総隻数約700隻のうち約50パーセントに当たる350隻について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 旅客船のバリアフリー状況(東北県別)

- ・旅客船のバリアフリー化は、4割強について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

## ①旅客船

(令和2年度末時点)

(目標値:約50%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数	11	-	20	2	7	-	40	668
基準適合車両	4	-	13	0	2	-	19	356
総数に対する割合	36.4%	-	65.0%	0.0%	28.6%	-	47.5%	53.3%

## ②一日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上である旅客船ターミナルに就航する旅客船

(令和2年度末時点)

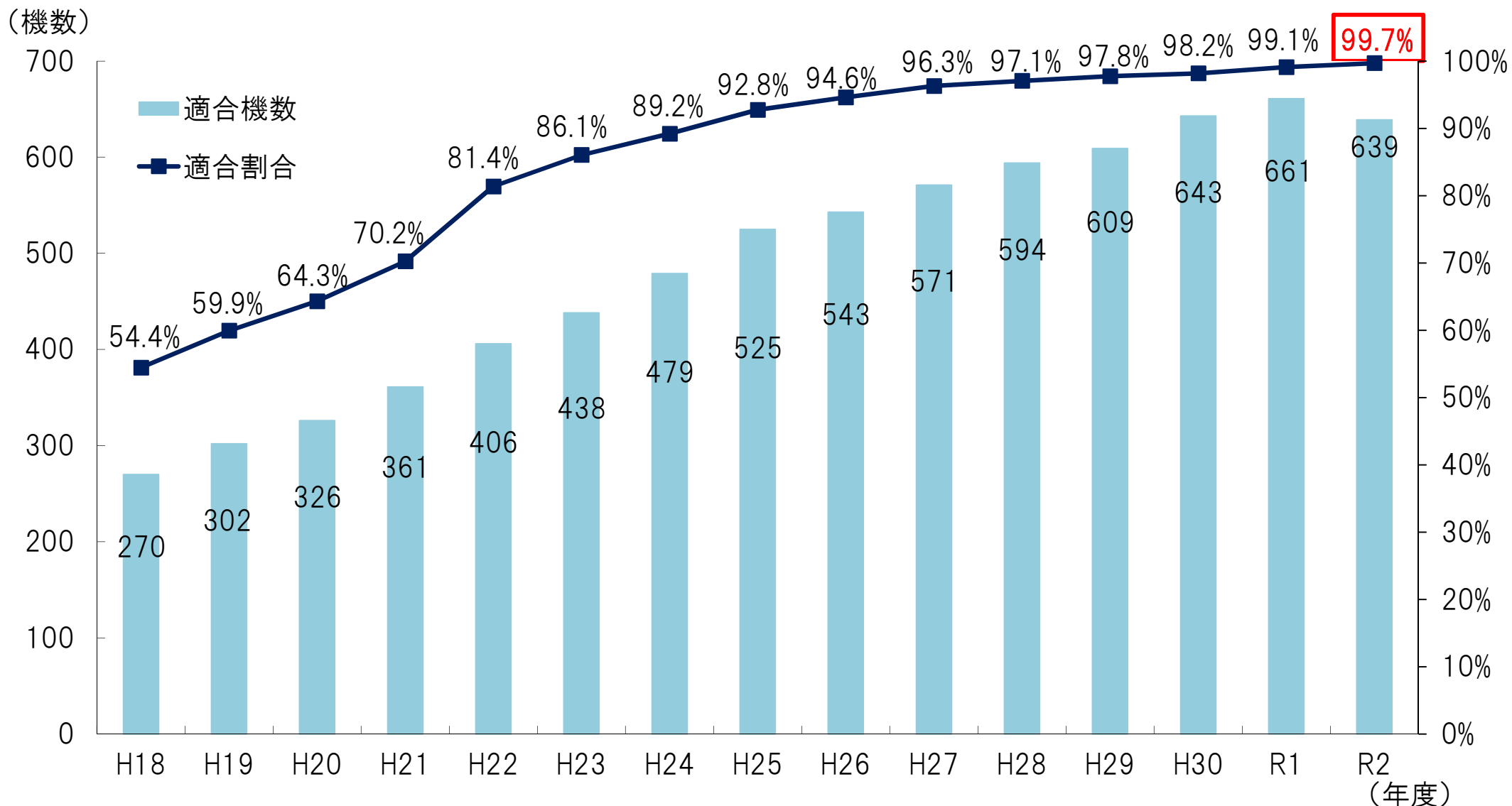
(目標値:約50%/2020年度末)	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
総数	-	-	-	-	-	-	8	4	5	-	17
基準適合車両	-	-	-	-	-	-	4	2	3	-	9
割合	-	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%	60.0%	-	52.9%

# 航空機のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆航空機のバリアフリー化の目標

総機数約620機※について、令和2年度までに、原則として全て移動等円滑化を実施する。

※基本方針に記載されている総数(平成29年度末時点の総機数)



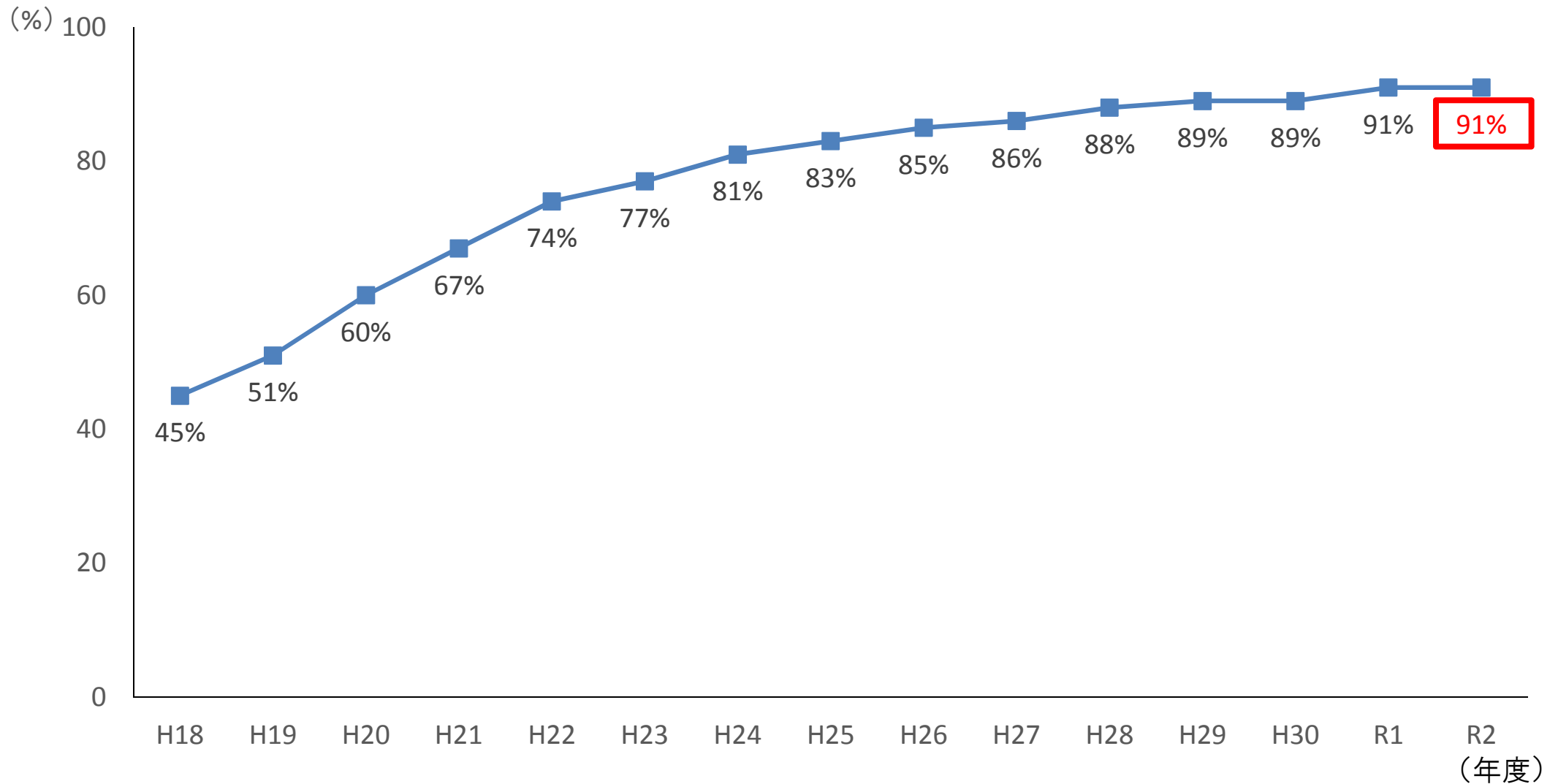
(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

# 道路

# 道路のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆道路のバリアフリー化の目標

原則として重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する全ての道路について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 道路のバリアフリー状況(地域別)

- ・重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する全ての道路のバリアフリー化は、約9割について実施済。
- ・地域別に見ると、北海道、東北、北陸、中部、中国、九州、沖縄における進捗率が比較的高い。

(目標値:100%)	北海道	東北	関東	北陸	中部
道路延長 (km)	184.5	82.1	422.8	64.0	157.8
整備延長 (km)	182.8	79.1	377.0	61.6	152.7
割合	99.1%	96.3%	89.2%	96.3%	96.8%

(目標値:100%)	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
道路延長 (km)	489.9	76.2	32.4	188.7	4.3	1,702.7
整備延長 (km)	426.0	71.9	26.6	174.2	4.0	1,555.8
割合	86.9%	94.4%	81.9%	92.3%	93.0%	91%

(令和2年度末時点)

# 都市公園

# 都市公園のバリアフリー状況(東北県別)

- ・都市公園のバリアフリー化は、園路・広場については約5割、駐車場、便所については約4割の都市公園において実施済。
- ・県別に見ると、園路・広場については青森県、岩手県、山形県、福島県、駐車場については岩手県、福島県便所については山形県以外の進捗率が高い。

(令和2年度末時点)

(目標値:約60%)		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
園路及び広場	総数	864	1,305	2,442	584	840	1,105	7,140	100,756
	基準適合の数	524	796	855	230	549	768	3,722	59,855
	割合	60.6%	61.0%	35%	39.4%	65.4%	69.5%	52.1%	59.0%

(目標値:約60%)		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
駐車場	総数	108	118	183	106	144	193	852	9,371
	基準適合の数	41	81	77	41	58	100	398	4,696
	割合	38.0%	68.6%	42.1%	38.7%	40.3%	51.8%	46.7%	50.0%

(目標値:約45%)		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
便所	総数	297	406	570	229	545	489	2,536	36,077
	基準適合の数	121	168	248	104	177	280	1,098	13,754
	割合	40.7%	41.4%	43.5%	45.4%	32.5%	57.3%	43.3%	38.0%



# 路外駐車場

# 路外駐車場のバリアフリー状況(東北県別)

- ・路外駐車場のバリアフリー化は、約6割の特定路外駐車場について実施済。
- ・県別に見ると、青森県、宮城県における進捗率が高い。

(令和2年度末時点)

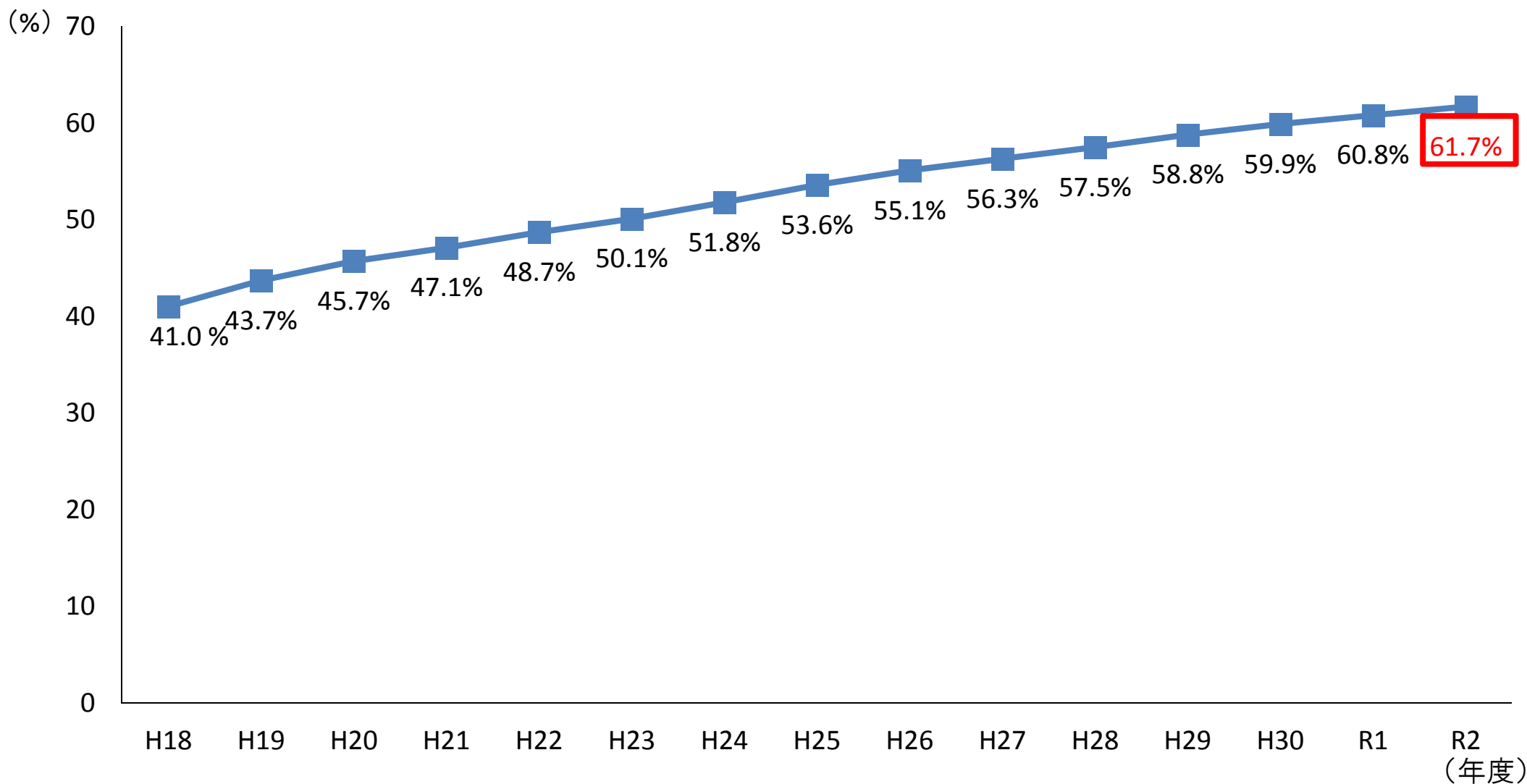
(目標値:約70%)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数[箇所]	38	54	60	25	22	13	212	3,151
基準適合の数[箇所]	25	32	39	14	13	6	129	2,229
割合	65.8%	59.3%	65.0%	56.0%	59.1%	46.2%	60.8%	70.7%

# 建築物

# 建築物のバリアフリー化の推移

## ◆建築物のバリアフリー化の目標

2000㎡以上の特別特定建築物の総ストックの約60パーセントについて、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



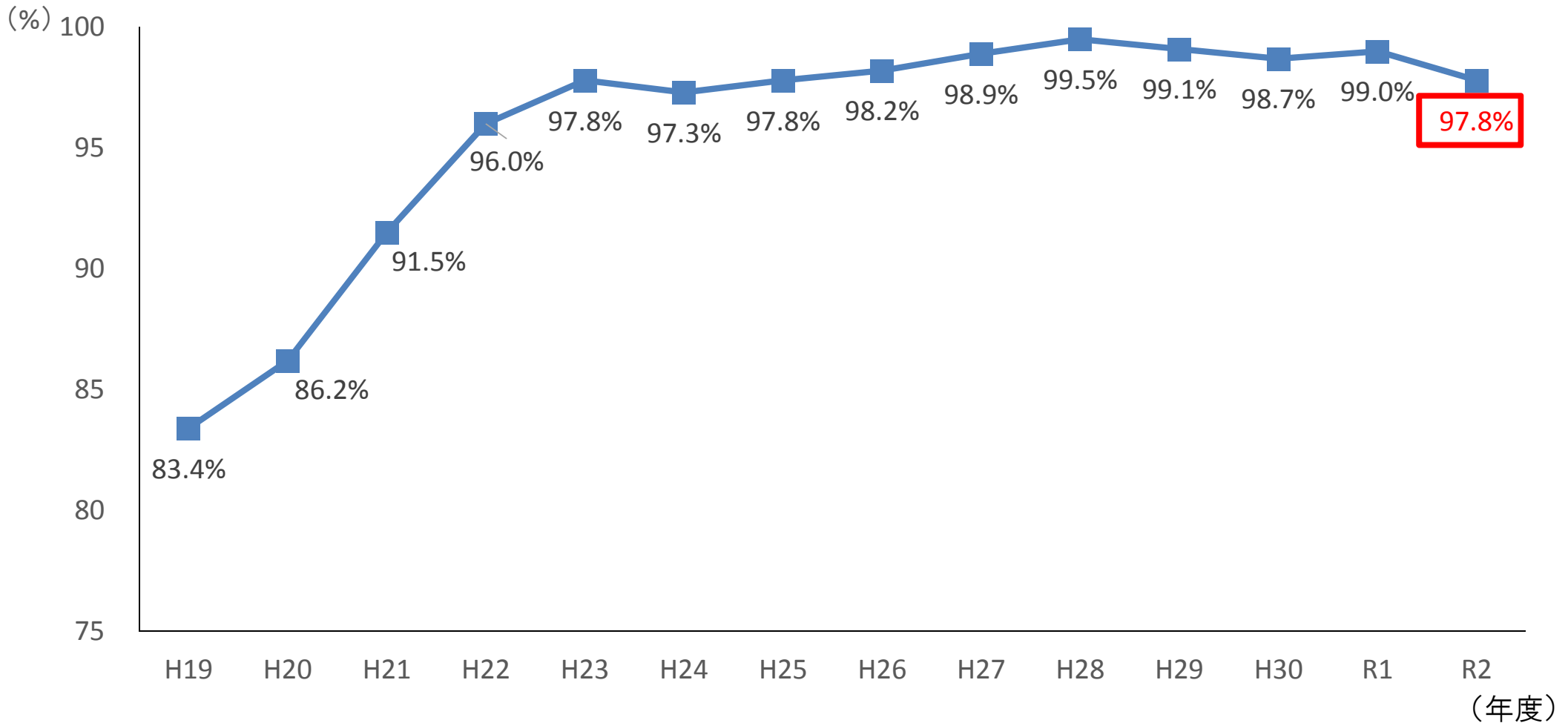
# 信号機等

# 信号機等のバリアフリー化の推移(全国)

※警察庁資料

## ◆信号機等のバリアフリー化の目標

重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等については、令和2年度までに、原則として全ての当該道路において、音響信号機、高齢者等感応信号機等の信号機の設置、歩行者用道路であることを表示する道路標識の設置、横断歩道であることを表示する道路標示の設置等の移動等円滑化を実施する。※令和2年度において達成率が低下しているのは、移動等円滑化促進方針・基本構想の策定が進められたことにより、対象となる横断箇所が増えたため。



・重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等のバリアフリー化は、全体的には着実に進んでいる。

(令和2年度末時点)

(目標値：100%)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北平均
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

北海道	東北	東京都	関東	中部
100.0%	100.0%	97.1%	99.4%	99.8%

近畿	中国	四国	九州	全国平均
93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%

※管区警察局別